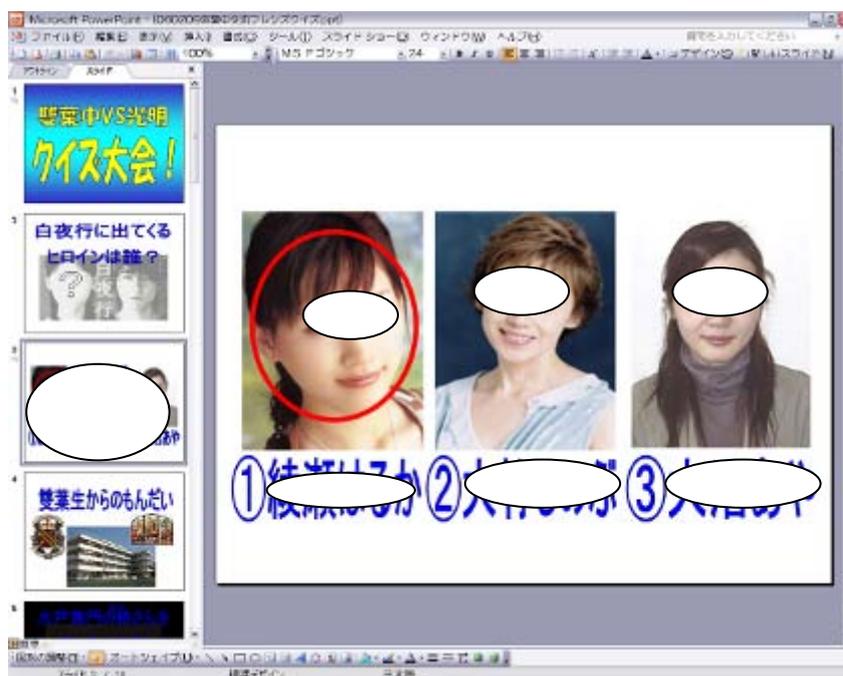


教材事例書式

教材教具名	クイズ大会	教科（総合）	情報提供者	五十嵐
-------	-------	--------	-------	-----

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 交流 スイッチ操作(手指の巧緻性)
- 2 使い方 ・スイッチと大型ディスプレイを用意し、スイッチを押して進める。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

- ・ゲーム性もあり、なかなか楽しめる。
- ・MSオフィスパワーポイントがインストールされているPCで作成可能。
- ・交流のある学校との親睦を図るために設定した。クイズ大会とすることでお互いの興味・関心について知ることができよい教材となった。
- ・肢体不自由の生徒（筋ジス、脳性マヒ）の生徒にも操作がスイッチ（ビッグマック等）を押すだけで簡単なので参加意識を高められるとともに、押すことができたという達成感が得られる。
- ・「クイズを作る」ことが可能な発達段階の生徒は自分で考えることができたが、表出の弱い生徒に関しては、保護者と相談しながら問題を作った。
- ・あくまで単発の授業用として考えた。